

教科	社会	科目	倫理	単位	2	対象	第2学年A組～E組
使用教科書 (出版社)	高等学校 倫理 (第一学習社)		使用教材 (出版社)	最新図説 倫理 (浜島書店)			

月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	青年期の課題と自己形成	人間が生きる意味や青年期のあり方についての思想に触れさせ、人間と自己への理解を深めさせる。	「関心・意欲」 「知識・理解」 「思考・判断」 授業への取組	6
5月	人間としての自覚・①ギリシャの思想	ヨーロッパ文化の原点としてのギリシャ哲学についての基本的な知識を理解させる。ソクラテスの「無知の知」やプラトンの「イデア論」とアリストテレスの現実主義の立場、ポリス中心の考え方とコスモポリタンの思想等を理解させる。	「関心・意欲」 「知識・理解」 「思考・判断」 授業への取組 定期考査	6
6月	②キリスト教・③イスラーム・④仏教	イエスの思想を理解させ、キリスト教を多面的・多角的に考察させる。イスラームの基本的教義を理解させる。仏教の教え本を理解させる・ユダヤ教・キリスト教・イスラーム・仏教の特徴を理解させ、宗教の意義を考えさせる。	「関心・意欲」 「知識・理解」 「思考・判断」 授業への取組	8
7月	⑤中国の思想(儒家・道家)	身近なものにも中国の思想とのかかわりがあることを知り、中国の思想に対する興味・関心を高めさせる。孔子や老子のことばから、中国思想の根本を読み取らせる。	「関心・意欲」 「知識・理解」 「思考・判断」 授業への取組 定期考査	4
9月	国際社会に生きる人間としての自覚	日本人の精神的特性と古代の日本人の倫理意識を理解させる。仏教や儒教が日本で変容していった流れを把握させ、鎌倉仏教の特色を理解させる。日本人の価値意識と儒教との関連を理解させる。	「関心・意欲」 「知識・理解」 「思考・判断」 授業への取組	8
10月	西洋思想との出会い・第4章①ルネサンス	幕末の思想の特質と日本の近代思想の展開を理解させる。国際社会に生きる日本人としての生き方やあり方を考えさせる。 西洋の近代人は人間の尊厳をどこに置いたかを理解させる。	「関心・意欲」 「知識・理解」 「思考・判断」 授業への取組 定期考査	8
11月	現代に生きる人間の倫理②近代の科学革命③自由で平等な社会	科学的な考え方、経験論と合理論の考え方の特色を理解させる。 近代ヨーロッパの民主社会の成り立ちと自由、幸福等に対する考え方を近代ヨーロッパの思想家を通して理解させる。	「関心・意欲」 「知識・理解」 「思考・判断」 授業への取組	8
12月	④人間性の回復と主体性の確立①社会主義～③プラグマティズム	社会主義、実存主義、プラグマティズムが追求した社会や人間のあり方はどのようなものかを理解させ、主な思想家の思想内容を理解させる。	「関心・意欲」 「知識・理解」 「思考・判断」 授業への取組 定期考査	4
1月	⑤現代の思想と人間像 ⑥生命への畏敬と社会参加	現代思想が発見・注目してきた事を理解させ、現代思想はそれまでの思想の何をどのように乗り越えようとしているかを考えさせる。自らの思想をそのままに生きた思想家について学ばせる。	「関心・意欲」 「知識・理解」 「思考・判断」 授業への取組	6
2月	現代の諸課題と倫理	バイオテクノロジーと生命をめぐる生命倫理、環境への責任と環境倫理、家族や地域社会の問題点と今後の在り方などについて学び、探究した結果を話し合わせる。文章にまとめる。	「関心・意欲」 「知識・理解」 「思考・判断」 授業への取組	8
3月	現代の諸課題と倫理	異文化を理解するに当たっての問題事例や人類全体の福祉をめぐる問題となっている事例を収集し考察させ、社会で必要な取り組みを話し合わせる。文章にまとめさせる。	「関心・意欲」 「知識・理解」 「思考・判断」 授業への取組 定期考査	4